

事前評価表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	令和4年度～令和8年度（5年間）		
事業実施地区名 （都道府県名）	（るもい） 留萌森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 （るもいほくぶ） 留萌北部森林管理署 （るもいなんぶ） 留萌南部森林管理署		
事業の概要・目的	本事業は、北海道の北西部に位置し、留萌北部森林管理署及び留萌南部森林管理署管内の1市6町1村に所在する約190千haの国有林野を対象としている。 本計画区は、暑寒別・天塩山系が連なる優れた山岳景観を有するため、暑寒別天売焼尻国定公園や朱鞠内道立自然公園に指定されており、保健休養の場として多くの利用者が訪れることから、観光資源としての特性も兼ね備えている。また、豊かな自然環境は「遊々の森」をはじめとする国有林野をフィールドとして地域住民と森林とのふれあいの場を提供している。 森林の現況は、約345千haの流域面積に対して約84%が森林となっており、トドマツ（91%）を主とした人工林が約31千ha、天然林は広葉樹林を主に約146千haを有している。また、森林面積の約79%が水源涵養を主な目的として保安林に指定され、基幹産業の農畜産業や沿岸部の漁場の保全に資する観点から重要な役割を果たしている。 一方、森林資源は本格的な利用期を迎えており、人工林の齢級構成は間伐適期とされる7～12齢級が約87%を占め、その中でも主伐期とされる10齢級以上の割合は約48%となっている。地域からの要望として、計画的な森林施業による齢級構成の平準化や、「初山別地域森林整備に関する協定」においては森林施業団地による施業の集約化と民有林と国有林が連携を図り、地域一帯の森林整備の推進が求められている。 今後、道内では木質バイオマス発電施設の稼働により、林地未利用材の需要拡大が見込まれるため、地域のエネルギー資源として有効活用を図り、木材の安定供給を通じて地域経済及び林業・木材産業の振興に寄与することが期待されている。 本事業では、これまでの評価結果を踏まえ、地域の期待に応えるためにも、森林の有する公益的機能を持続的に発揮するために必要な森林整備、並びにこれらを効率的に推進するための路網整備を適切に実施する。 ・主な事業内容： 森林整備 更新面積 407 ha 保育面積 18,675 ha 路網整備 開設延長 14.4 km 改良延長 該当なし ・総事業費 2,044,644 千円（税抜き 1,858,767 千円）				
費用便益分析	総便益（B）	25,438,882 千円			
	総費用（C）	3,019,426 千円			
	分析結果（B／C）	8.43			
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業を実施することが妥当であるとする。				
評価結果	・必要性： 森林資源の本格的な利用期を迎え、森林施業共同団地による地域一帯の整備の推進や沿岸部の漁場保全に資する観点から、森林の有する公益的機能の				

発揮が求められている。また、豊かな自然環境の保全に寄与するため、事業の必要性が認められる。

- ・ 効率性： 今後の森林施業を見据え、利用区域内における施業の優先度を勘案した路網整備が計画され、高性能林業機械を適切に組み合わせた作業システムの定着が図られている。また、民有林との連携による施業の集約化や一貫作業による再造林経費縮減の観点からも、事業の効率性が認められる。
- ・ 有効性： 本事業により、森林の有する公益的機能の持続的な発揮が期待され、その効果の発現が見込まれており、地域の基幹産業への振興や河川流域の保全、さらには広葉樹資源を有効活用し、計画的な森林整備による木材の安定供給を通じて森林吸収源対策に寄与するため、事業の有効性が認められる。

新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効果的・効率的に計画されていると認められる。

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	令和４年度～令和８年度（５年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（くしろねむろ） 釧路根室森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 根釧西部森林管理署 根釧東部森林管理署
事業の概要・目的	本事業は、北海道の東部に位置し、根釧西部森林管理署及び根釧東部森林管理署管内の２市10町1村に所在する約288千haの国有林野を対象としている。 本計画区は、日本最北の世界自然遺産に登録される知床半島や国の特別天然記念物「マリモ」の生息域の阿寒湖をはじめとする貴重な生態系と自然環境を有するため、「知床国立公園」や「阿寒摩周国立公園」に指定されている。また、令和３年３月には「厚岸霧多布昆布森国定公園」が新たに指定されており、区域内はラムサール条約登録湿地であるため、湿原や湖沼の環境保全に期待されている。これらは保健休養の場として多くの利用者が訪れることから、観光資源としての特性も兼ね備えている。 森林の現況は、約959千haの流域面積に対して約59%が森林となっており、トドマツ（51%）、エゾマツ（26%）を主とした人工林が約82千ha、天然林は針広混交林を主に約176千haを有している。また、森林面積の約95%が水源涵養や土砂流出防備を主な目的として保安林に指定され、広大な根釧台地の「格子状防風林」は国土保全機能の発揮により、農畜産業の振興や生活環境に重要な役割を果たしている。 一方、森林資源は本格的な利用期を迎えており、人工林の齢級構成は間伐適期とされる７～12齢級が約84%を占め、その中でも主伐期とされる10齢級以上の割合は約50%となっている。地域からの要望として、別寒辺牛湿原周辺に位置する「パイロットフォレスト」では、カラマツ資源の持続的利用と木材の安定供給に資する観点から、計画的な森林経営を推進し、長伐期施業について関係市町村への情報提供を図りながら、環境保全に配慮した施業が求められている。 今後、道内では木質バイオマス発電施設の稼働により、林地未利用材の需要拡大が見込まれるため、地域のエネルギー資源として有効活用を図り、木材の安定供給を通じて地域経済及び林業・木材産業の振興に寄与することが期待されている。 本事業では、これまでの評価結果を踏まえ、地域の期待に応えるためにも、森林の有する公益的機能を持続的に発揮するために必要な森林整備、並びにこれらを効率的に推進するための路網整備を適切に実施する。 ・主な事業内容： 森林整備 更新面積 2,961 ha 保育面積 50,332 ha 路網整備 開設延長 14.4 km 改良延長 32.1 km ・総事業費 14,516,365 千円（税抜き 13,196,695 千円）		
費用便益分析	総 便 益（B）137,958,347 千円		
	総 費 用（C）20,359,729 千円		
	分析結果（B／C）6.78		
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業を実施することが妥当であるとする。		

評価結果	・必要性： 森林資源の本格的な利用期を迎え、カラマツ資源の循環利用を図り、農畜産業の振興に資する観点から、森林の有する公益的機能の発揮が求められている。また、貴重な自然環境や温泉資源にも恵まれ、観光資源の保全により保健文化機能の維持増進に寄与するため、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 今後の森林施業を見据え、比較的緩やかな地形を考慮し、利用区域内における施業の優先度を勘案した現況に即する路網整備が計画され、高性能林業機械を適切に組み合わせた作業システムの定着が図られている。また、一貫作業による再造林経費縮減の観点からも、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 本事業により、森林の有する公益的機能の持続的な発揮が期待され、その効果の発現が見込まれており、地域の基幹産業への振興や観光施策の推進、さらには生態系と生物多様性を維持し、計画的な森林整備による木材の安定供給を通じて森林吸収源対策に寄与するため、事業の有効性が認められる。 新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効果的・効率的に計画されていると認められる。
-------------	---